

宇都宮大学職員組合 組合ニュース

[2011 年度後期 第 2 号] 2011 年 12 月 15 日発行

〒321-8505 宇都宮市峰町 350 Phone 内線 2010 028-649-5029 Fax 028-614-3313
E-mail: uu-union@galaxy.ocn.ne.jp Homepage: <http://www8.ocn.ne.jp/uu-union/>

教職員共済専門委員会報告

本年度は、伊東明彦(教育学部)、大関清太(工学部)、神代英昭(農学部)、長谷川和壽(工学部)、守友裕一(農学部)、松島さくら子(教育学部・担当執行委員)をあわせ 6 名体制でスタートいたしました。11 月 24 日 第 1 回委員会が開かれ、教育学部分会の伊東明彦先生を委員長に選出しました。

2011 年度の活動方針としては、(1).退職者説明会の開催、(2). 共済専門委員会の活動内容や専門委員を組合ニュースで組合員にお知らせし、より連絡をとりやすい体制をつくる、(3). 職員組合員数・共済組合員数・給付状況等の現状把握、(4).組合と共催で退職者送別会を実施、(5).メールングリストをたち上げ専門委員同士のスムーズな連絡体制の構築、といたしました。

早速、12 月 19 日(月)に退職者説明会を開催いたします。今年度末退職される方、或は退職間近の方、ご家族の同伴も可能ですので、ご参加いただきますようご案内いたします。

尚、教職員共済に関してのご質問・問い合わせは、お気軽に上記教職員共済専門委員又は組合事務所へお願いいたします。(松島記)

退職者説明会の開催について

日時：12 月 19 日(月) 17:30~

場所：組合事務室 2 階

講師：教職員共済大学事業所 延嶋 由佳子 氏

書類の準備の関係がありますので、参加ご希望の方は組合事務局までご一報いただければ幸いです。

IT 化専門委員会より

IT 化専門委員会では、職員組合ホームページの刷新に向けた作業を進めています。来年 1 月中には、新たな装いでお披露目できると思います。ご期待ください。

国会行動参加の報告

執行委員長 浅野 一郎

12月5日(月)「国公立大学の教育・研究・医療の充実を求める共同国会行動」が行われました。全大教30名、私大教連20名の参加で、参議院議員会館で13時からの全体集会の後、17時まで、衆議院40名、参議院20名の文部科学委員へ、手分けして、“国立大・高専への運営費交付金の満額実現”“給付制奨学金の実現”等の要望書を手渡す行動をおこないました。議員の直接対応は民主：笠浩史、共産：宮本岳志の2名で、ほとんど秘書対応でした。浅野が担当したのは参議院でしたが、地元の上野通子氏が含まれていましたので、秘書の方に、地元事務所にも陳情に伺うかもしれません、と予告しておきました。国会審議は我々の給与にも直接影響しますが、議員は大学の実情(窮状)をあまり知っているとは思えず、この種の行動は今後とも必要であると思います。



「全大教メールマガジン」より

【国家公務員給与減額法案は継続審議となり、1月の通常国会に】

臨時国会は12月9日閉会し、給与減額法案は継続審議となりました。12月2日、民主党、自民党、公明党が、法案の修正協議に入ったものの「合意」には至っていません。

全大教新聞12月号掲載のように、12月5日の国会要請行動、国立大学協会への働きかけ、学長との懇談、学内の宣伝行動など取り組みは進んでいます。1月召集の通常国会で法案が仮に成立したとしても、施行は法律公布後の翌々月のため3月か4月になります。それまでの間に、さらに取り組みを進め、全大教は2月に合同地区別単組代表者会議を開催する予定です。

活動報告 2011年11月9日～12月14日

- 11月9日(水) 前期第3回執行委員会
- 11月16日(水) IT化専門委員会(第1回)
- 11月24日(木) 教職員共済専門委員会(第1回)
- 11月25日(金) 技術職員専門委員会(第1回)
- 11月30日(水) 前期第4回執行委員会
- 12月5日(月) 「国公立大学の教育・研究・医療の充実を求める共同国会行動」(浅野委員長参加)
- 12月5日(月) 平和専門委員会(第1回)
- 12月6日(火) IT化専門委員会(第2回)
- 12月14日(水) 前期第5回執行委員会

組員からの投稿 最近読んで面白かった本 (1)

工学部分会・大関先生から次のような趣旨でご投稿いただきました。

「昨年度の執行委員会で何かニュースのあいているところに文章を入れたらどうかと話題になったとき、自分が読んで面白かった一般書の紹介なら皆が書けるのではないか。この文は震災前にニュースに載せる予定で書いた 2 回分ですがそれどころではなくなりそのままになってしまいました。埋め草としてでも使ってください。」

ニュース編集担当者としては、このような投稿、大歓迎です。大関先生、どうもありがとうございます。今回は 2 回分のうち 1 回目、2 回目は次号に掲載予定です。

最近読んだ面白かった本 (1)

工学部分会 大関 清太

『そして、僕は OED を読んだ』(アモン・シェイ著、田村幸誠訳、三省堂、1890 円)
(原書も簡単に入手できます。Reading the OED: one man, one year., 21730 pages)

新刊本は町の図書館にリクエストをして自分で買うことはほとんどありません。そんな中で今年になって初めて購入した本です。書店で立ち読みしてこれは買わずになるまいと買ったのです。以前読んだ『博士と狂人』(サイモン・ウィンチェスター著、鈴木主税訳、早川書房、1800 円)と『オックスフォード英語大辞典物語』(サイモン・ウィンチェスター著、苅部恒徳訳、研究者、2500 円)は OED ができるまでの話だったのですが、今回の本のタイトルの“読んだ”の意味がしっくりきません。一般的には辞書・辞典は知らない言葉や事項を調べ、言葉の使い方に自信がないときに引くものなのです。

実は原書のタイトルにもあるようにシェイが一年間に全部で 20 巻、重さで 60 キロを超える『オックスフォード英語辞典』(略して OED)を読み、彼が面白いと思った単語を解説してある世にも恐ろしい本なのです。面白いと思ったのはランダムにではなく全てを読み倒した結果なのです。シェイは 1000 冊の辞書を持っているが別に辞書・辞典収集家ではありません、あくまで“単語”収集家なのです。

この本の中に意気投合し敬愛する辞書だけの売買で生計を立てている女性マデリンのアパートを訪ねる場面が出ています、蔵書(正確には辞書類)2 万冊だ。何がなんだか分かりません。

おそらくシェイは素人の読者にいきなりあまり変な単語を紹介したら途中で投げ出してしまおうと、初心者向けを心がけているでしょうが、それでも当然のことですが私が知っている単語はただの 1 つも出てきません。

昔読んだ数学の論文に「...ある人は蝶を集め、ある人は切手を収集し、またある人は不等式を集める。...」と書いてあったことを思い出しました。蛇足ですがウィンチェスターの本が二人の訳者によって翻訳されていますが、大きな差があるのには驚きました。

執行委員から一言

このコーナーでは各執行委員からの「一言メッセージ」を掲載します。今回は長谷川書記長の自己紹介です。

書記長 長谷川 和壽

宇都宮大学職員組合の皆様こんにちは。2011 年度執行委員を任され、書記長の役職に就いてアタフタしている工学部分会所属、技術職員の長谷川です。よろしくお願いします。

現職は地域共生研究開発センター・先端計測部門に所属し、設置されている分析機器の保守・管理を主におこなっています。とくに無機物関係の物性を測定する機器を担当しています。前職が応用化学科化学工学研究室という触媒反応関係の研究室であり、主に物性測定に関する機器を利用していたためです。分析機器は講習（個別指導）を受ければ誰でも利用できます。さらに学内・学外を問わず委託分析も格安でおこなっていますので、是非ご利用ください。

また、ランチョンセミナーでも発表しましたが、前職でガラス製真空ラインでの実験もしていたので、ガラス製の実験器具や実験装置を製作・修理することが可能です。ガラス製の実験器具を多用されている皆様をお手伝いできるかと思えます。

皆様には至らぬところが多々あると思いますが、よろしくお願いします。